

【展示物名】 下北方5号地下式横穴墓

【該当する学年】

小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
----	----	----	----	----	----	----

【展示物の説明および学習内容（ねらい）】

☆ 宮崎県のみならず、日本国内でも代表的な古墳時代中期の副葬品が多数出土している。ヤマト王権や朝鮮半島とのかかわりを示す貴重な副葬品が多数あり、当時の南九州の政治状況を示すものである。その重要性から、令和2年に国指定重要文化財として指定された。パネルでは、地下式横穴墓についての構造や起源・分布について詳しく説明している。また、出土品として、国宝級のくろがねの武具や農工具、玉類等の装飾品を多数展示している。

☆ 小学校6年「大昔の暮らしとくにの統一」では、南九州と大和朝廷（大和政権）や朝鮮半島との強い関わりを具体的に学習することができる。

中学校の「古代までの日本」では、多くの出土品を見学することで古代国家の様子について、身近なものとして学習することができる。

【写真】



すいしょくつきみみかざり
【垂飾付耳飾】



まがたま たまるとい
【紫水晶製の勾玉や玉類】

【学習指導要領】

<小学校6年>

(2) 我が国の歴史上の主な事象 ア

(ア) 狩猟・採集や農耕の生活、古墳、大和朝廷（大和政権）による統一の様子を手掛かりに、むらからくにへと変化したことを理解すること。その際、神話・伝承を手掛かりに、国の形成に関する考え方などに関心をもつこと。

(シ) 遺跡や文化財、地図や年表などの資料を使って調べ、まとめること。

<中学校1・2年>

B 近世までの日本とアジア

(1) 古代までの日本 ア

(イ) 日本列島における国家形成